**自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **№** | **タイトル** | **評価項目** | **自己評価** | **記述** | **運営推進会議で話しあった内容** | **外部評価** | **記述** |
| **Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営** | | | |  |  |  |  |
| 1 | 理念の共有と実践 | 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 「友愛」の理念は抽象的ではあるが、イメージされるそれぞれの状況を各自で膨らませることで、関係する誰もが共に歩みながら明るく穏やかな家庭的な雰囲気を醸し出している。 |  |  |  |
| 2 | 事業所と地域とのつきあい | 事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 近隣の方々と挨拶や自治会、消防団の見守り、ボランティア活動、行事などを通して交流を行ってきた。コロナ感染防止対策で一時交流が途絶えたが少しずつ再開したい。 | 現在実施している地域活動としては、自治会が実施している廃品回収、消防団による月2回の見守りである。これからも地域の活動により積極的に参加するようにしたい。 |  |  |
| 3 | 運営推進会議を活かした取り組み | 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 地区自治会長、女性部会長、民生委員、地域包括支援センター、御家族代表、那珂市役所の他、交流のあるＧＨ代表者に対し定期的に文書にて報告、本年度より会議を再開した。 | 地域のよりどころになる施設であって欲しい。 |  |  |
| 4 | 市町村との連携 | 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 運営推進会議での報告の他、利用者数や待ち数、病気や怪我の報告などを文書にて報告し、コンプライアンスの徹底を図っている。本年度より会議を再開しより徹底を図りたい。 | コロナ対策等での連絡文書も発送され、書面での会議ではあったが連携はとれていたと思う。 |  |  |
| 5 | 身体拘束をしないケアの実践 | 代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 身体的拘束等の適正化のための指針や、職員研修、｢身体拘束禁止委員会｣議事録の作成、職員会議での確認などを通し、職員全員が身体拘束をしないケアの実践に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | やむを得ず身体拘束を行う場合は家族と話し合い、同意書をとっている。 |
| 6 | 虐待の防止の徹底 | 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 虐待防止委員会を設置し定例会議や研修を通して虐待等がないように相互に確認をしている。またその結果等について職員会議で報告し、職員の共通理解を図り虐待の未然防止に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 今まで虐待にあたる行為は上がっていない。WEB研修で職員研修を行っている。 |
| 7 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 | 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 施設長が社会福祉士として権利擁護に関わる制度やその運用について研鑽を積み重ねてきた。またWEB研修を年間計画を立てて実施し、権利擁護等についても適宜研鑽につとめている。 |  |  |  |
| 8 | 契約に関する説明と納得 | 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 施設長、管理者、ケアマネージャーの複数人が契約時に対応し、施設の状況や経費等について詳しく説明している。また御家族からの質問についても一つ一つ丁寧に答えられるようにしている。 |  |  |  |
| 9 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 途絶えてきた家族会等を再開し、家族同士の交流の場を設け、御意見を運営に反映させていきたい。また利用者や家族が意見や要望を出せるよう、定期的に榧子木通信等を発行し施設の報告に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 2か月に1回かやのき通信で内容をお知らせしている。ケアプラン作成時に要望も伺っている。家族会が年2回敬老会、観桜会に合わせて行ってきた。コロナ感染が落ち着けば再開予定。行事を増やして欲しいとの要望があった。 |
| 10 | 運営に関する職員意見の反映 | 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎月、職員会議を行い職員の意見や提案を聞く機会を設け、運営に反映させている。またケースカンファレンス等も合わせて実施することで、御利用者の状態の把握についての共通理解を図っている。 |  |  |  |
| 11 | 就業環境の整備 | 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎月始めに次月の勤務割りをつくるための希望調査を実施し、希望がかなうようなシフトを編成している。また毎月WEB研修等を通し新しい知識や方法などについて理解を深めるように努力している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 勤務希望はほぼ叶えた勤務表になっている。 |
| 12 | 職員を育てる取り組み | 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 自己評価制度を導入し管理者等との面談を通して目標を持って仕事に取り組めるよう努力している。またWEB研修を定期的に実施し、知識の啓発や実践課題等の発見に到るように努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 自己評価を年２回行い、施設長が直接面談を行っている。 |
| 13 | 同業者との交流を通じた向上 | 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 同業者の施設とは、行事や推進会議などに相互に参加することで情報の共有化を図っている。また市のケアマネを中心としたネットワーク作りにも積極的に参加している。 |  |  |  |
| 14 | 本人と共に過ごし支えあう関係 | 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 本人のこれまでの生活を尊重した働きかけをしたり、職員が利用者から教えて頂いたりしながら支え合う関係を構築している。また他の御利用者との関係性にも配慮し、トラブルの未然防止や調整に努めている。 |  |  |  |
| 15 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 | 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 知人や親族等の面会が制限されてきたが、気軽に来て頂けるよう感染防止対策を取りながら対応していきたい。また日常会話の中でも慣れ親しんだ場所や人のことを意識的に話題にするようにしている。 | コロナ対策のため面会は御家族･兄弟姉妹に制限し、居室にて15分程度行っている。今後はコロナ感染状況に応じて検討を重ねていきたい。 |  |  |
| **Ⅱ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | |  |  |  |  |
| 16 | 思いや意向の把握 | 一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 全職員が利用者に関する情報を共有し利用者の意向を尊重できるよう配慮している。利用者が自身の希望を伝えられない場合は家族を含めて話し合い、その利用者に合ったサービスの提供に努めている。 |  |  |  |
| 17 | チームでつくる介護計画とモニタリング | 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 利用者の状態に変化が見られる時は、こまめにサービス担当者会議を行い、現状の課題を共有する事で、現状に即した介護計画が作成できている。 | ケアプランの原案を元に職員会議にてカンファレンスを実施し、職員の意見を取り入れながらプランを作成している。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | サービス計画書は家族に同意して頂いている。本館の利用者の介護度が高くなっているので良いプランを作るのが難しくなってきている。 |
| 18 | 個別の記録と実践への反映 | 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 日誌や個人記録等を活用して申し送り等を行い、職員間で情報を共有している。またケア記録アプリの導入により、情報の整理、分析が可能となり科学的視点で対応できるようLIFEの導入を検討している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ケア記録アプリを導入したおかげで見やすくなり、ケアプランに纏めやすくなった。記録時間の短縮にもなっている。職員間の情報共有もし易くなった。LIFE導入も予定している。 |
| 19 | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 | 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 現在多機能化については模索中である。連携する医療機関が変わった事で柔軟に看取り対応が可能になってきている。今後も様々なニーズに対応できるようにしたいと考えている。 | 見守りを行うことで多機能化に取り組んでいる。認知症カフェ等の地域貢献を、地域包括支援センターの方の協力を得ながら前向きに検討していきたい。 |  |  |
| 20 | 地域資源との協働 | 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | コロナ対応で少なくなった外出の機会を増やし、市立総合運動公園、県立植物園等身近にある地域資源を活用し、心身の力を発揮しながら安全で豊かな生活を楽しむことができるよう支援していきたい。 | 最近では大洗水族館を見学してきた。今後積極的に近隣の社会資源である、きのこ博士館や市立民俗資料館、あるいは県立植物園などの活用を考えていきたい。 |  |  |
| 21 | かかりつけ医の受診支援 | 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 本人や家族と相談し納得の得られた「かかりつけ医」の受診を支援している。また連携しているクリニックの往診や訪問歯科、訪問医療の受診も受けている。 |  |  |  |
| 22 | 入退院時の医療機関との協働 | 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ケアマネージャーを中心に、病院関係者と情報交換や連絡相談に努め、入院・早期退院に備えて連携している。また施設看護師が病態の把握と今後の措置等について、職員間の共通理解に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入院時はケアマネ、看護師が病院へ伺い、情報の提供、病状の把握をしている。シートは施設独自の物を使用している。 |
| 23 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入所時に重度化した場合や終末期について家族と話し合っている。利用者が日々をより良く生活できるよう、かかりつけ医や関係者と相談・連携して対応している。また御家族とは書面での確認も必ず行うような仕組みを整備している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 協力医療機関ひたちおおみやクリニックと個別契約している方は契約時に家族と話し合いをしている。看取り段階で医師と話し合いながら支援している。契約していない方にはその時々話し合いしながら支援している。 |
| 24 | 急変や事故発生時の備え | 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 急変時や事故発生時の対応ができるように職員会議やWEB等で研修している。応急手当や初期対応の訓練についてはケースに応じて看護師を中心に実施している。 |  |  |  |
| 25 | 災害対策 | 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 火災避難訓練を年２回実施し、利用者の避難方法を訓練している。また井戸水や発電機も利用できる環境になっている。今年の課題として感染対策の強化、業務継続計画、高齢者虐待防止推進を検討している。 | 備蓄関係では点検表を作成し、年1回避難訓練を実施し、備蓄品で食事を作った。発電機を使用し、井戸水を使った訓練も行った。BCPは本年度中に作成する予定である。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | BCPは本年度中に作成予定であるが、原子力関係は難しい。市の基本政策を参考にしながら見直しを行っていく予定である。備蓄は行っている。 |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | |  |  |  |  |
| 26 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 | 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 一人一人の性格、生育環境や認知症の状態が一人一人の行動や言動につながっていることを理解しながら接している。プライバシーの尊重や言葉かけには普段から充分な配慮や注意をして接している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 指導や研修は行っている。研修前には数件あった「ちゃん」付け呼びも研修後にはなくなった。 |
| 27 | 日々のその人らしい暮らし | 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | トイレの誘導や洗面、居室での休憩や就寝等、一人一人の生活ベースに合わせた支援をしている。お茶の時間なども眠い場合など、無理に誘うことはしないで様子をみながら対応している。 |  |  |  |
| 28 | 食事を楽しむことのできる支援 | 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 月１回季節に合わせたお楽しみメニューを提供し食事を楽しんで頂いている。また一人一人の嗜好や好み、持病等により違ったものを提供するなどの対応をしている。ご飯は精米しながら提供している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | ケアプラン作成時に何か食べたいものがないか聞いている。衛生面でできないこともあるが、タケノコの皮をむいたり、豆のスジをとってもらったり、焼き芋をつくるときにアルミホイルで包んで一緒に焼いて食べたりしている。 |
| 29 | 栄養摂取や水分確保の支援 | 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 一人一人の食べた量や水分量を把握し、身体の状態や習慣に応じて栄養・水分量が確保できるように支援している。好みの飲み物やスポーツドリンクをお茶の時間に提供し、水分補給に努めている。 |  |  |  |
| 30 | 口腔内の清潔保持 | 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 御利用者個々に合わせ、うがいや歯磨きの声かけを行い、食事毎に実施している。義歯の方には夜間入れ歯洗浄剤を使用し義歯の清潔に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎食後行っている。必要な方は訪問歯科受診を行っている。 |
| 31 | 排泄の自立支援 | 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 一人一人の排泄パターンを把握し、定期的なトイレの声かけや誘導を行い、リハビリパンツ等に頼らない自立にむけた支援を行っている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 排泄パターンを把握し、時間に合わせて声掛けしたり、尿量に合わせて使用するパットなども検討している。便秘の人にヤクルトミルミルを飲んで頂いたところ便秘が改善したこともあった。 |
| 32 | 入浴を楽しむことができる支援 | 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 基本的には午前中に１日おきであるが、利用者の希望があればその都度対応して入浴を楽しんで頂けるようにしている。入浴を拒否される方にも柔軟に対応しながら入浴を促している。 |  |  |  |
| 33 | 安眠や休息の支援 | 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 一人一人の生活習慣を把握し、安心して休息や睡眠がとれるよう支援している。また夜間寝付けない場合や徘徊が見られる方にも無理に寝かせようとしないで、状況に応じて誘導するように留意している。 |  |  |  |
| 34 | 服薬支援 | 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 一人一人の健康状態や症状の変化を確認しながら、かかりつけ医や看護師と相談し、服薬の支援に努めている。また職員が投薬情報を共有化し、看護師を中心に服薬状況の把握に努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 前回の推進会議でGHくりくりで薬を減らしたとの報告があった。精神科受診の際には出来るだけ減らす方向で話している。必要な場合は投薬するが一時的なものとし、必要がなくなり次第投薬は停止している。 |
| 35 | 役割、楽しみごとの支援 | 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 毎週定期的なボランティアの訪問を再開したい。なお季節に応じた行事、誕生会やゲームなどを適宜実施し、気分転換を図っている。この他散水や除草、農作業、洗濯物片付け等の作業も手伝って頂いている。 | コロナ対策で現在は中断しているが、エレキギターやお琴の演奏ボランティアに定期的に訪問演奏をして頂いた。今年は行事に参加して頂いた。地域ボランティアの参加も今後推進していきたい。 |  |  |
| 36 | 日常的な外出支援 | 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 適宜、近隣ドライブしたり、買い物の手伝いをして頂いたりしている。県植物園見学や菊祭り見学などの外出行事も定期的に実施している。 | 個別に施設内の四季折々の話をしながら、散歩をしている。またドライブも随時実施している。 |  |  |
| 37 | お金の所持や使うことの支援 | 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 現在は行っていないが、希望に応じて少額の金銭保持や買い物等での使用などの支援をしていきたい。 |  |  |  |
| 38 | 電話や手紙の支援 | 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 年賀状のやり取りや、本人の希望等、その都度対応している。 |  |  |  |
| 39 | 居心地のよい共用空間づくり | 建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 豊かな自然の中にある施設であるため常に季節を感じることができる。また、共用空間には花を飾ったり、季節に応じた小物や人形などを飾って住みよい空間づくりに努めている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 季節に合わせ雛人形、鯉のぼり、七夕飾り、十五夜十三夜の月見飾り、クリスマスツリー、門松など季節を感じるように配慮したりしている。また新聞を拡大コピーして細かい字が見え難い人にも読んでもらったり、市の広報なども見て頂いている。 |
| **Ⅳ．本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）** | | | |  |  |  |  |
| 40 | 本人主体の暮らし | 本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 共用の空間では、気の合った利用者同士で楽しく過ごせ会話が弾むような工夫をしている。 |  |  |  |
| 41 | 本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 本人の様々な情報を元にケアプランを作成し、家族や職員の同意を経て本人にとって一番納得できるケア・支援に努めている。 |  |  |  |
| 42 | 本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 一人一人の身体機能に合わせ、できるだけ自立した生活が送れるよう安全な環境づくりを工夫している。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 健康医療面では月１回協力医院のひたちおおみやクリニック往診時に主治医以外の人にも健康相談ができるように配慮している。その結果病態が安定した人もいた。 |
| 43 | 生活の継続性 | 本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 生活のリズムをつかむ上で食事や風呂、就寝時間は統一しているが、施設内は自由に歩くことが出来るようにしている。 |  |  |  |
| 44 | 本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 家族に協力して貰い、馴染みの品々や使い慣れた寝具・タンス・畳等を持参してもらい、使って頂いている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 入所時に馴染みの家具や茶碗などを持って来て頂いている。家族写真を持参して壁に掲示されている方もいる。 |
| 45 | 本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 定期的に外出行事を実施している。また散歩やドライブの機会を多く持っている。また催事への参加は自治会主催の敬老会などに参加した。 | 御利用者の希望どおりの時間に外出や催事に参加するのは難しいが、ある程度希望にそって実現できるように努力している。 |  |  |
| 46 | 本人が持つ力の活用 | 本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 御利用者の全ての望みを叶えることは難しいが、食事介助や排泄介助など御利用者の身体・心理的状態に合わせた介助に心がけている。 |  |  |  |
| 47 | 本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | とくに入浴時は介助者と1対1で話すことが出来るので、個人的な話が進むことが多い。また普段から個々人に合わせた会話は心がけている。 |  | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | なるだけ一人ひとりに話しかけられるよう留意している。またお風呂や食事時、ドライブや散歩、レクリエーションの時など個人的に話す機会がある。 |
| 48 | 本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | コロナ感染対策により地域の人々との交流は難しかったが、機会を捉えて今後検討していきたい。 | これまで敬老会や地域ボランティアの方との交流機会があったので再開を期待したい。また様々な機会を捉えて地域交流を推進したい。 |  |  |
| 49 | 総合 | 本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | 地域交流は機会が少なく今後の検討課題としていきたい。なお施設自体は消防団の方や自治会等地域に支えられて運営されている。 | 地域との直接交流は難しかったが、消防団や交番との連携もあり、今後さらに自治会等地域の方々に協力を仰ぎながらよりよい日々を送れるようにしたい。 | A．充分にできている B．ほぼできている C．あまりできていない D．ほとんどできていない | コロナ感染が落ち着くことで、これから交流機会を増やして欲しい。地域の敬老会には出欠が間に合わなかったので参加できず残念だった。戸崎地区では８月中なら出欠期限切れでも参加できる。戸崎地区では104名中37名参加された。80歳以上の方が多かった。 |